



阿久津 佳子 議員

## 市民サービス向上について

**問** 行政サービスにおいて職員定員適正管理と人材確保が最も基本である。しかし、国・県の権限移譲に伴う事務量増大により職員のワーク・ライフ・バランスやメンタルヘルスが損なわれている。また、職員の時間外勤務形態から見えてくる課題も多い。①課題解決のために業務情報のデジタル共有化、承認権限電子決裁システムなど業務体系全体の見直しや歳出削減につ

ながるシステム構築が急務と考えるが、その導入について②人材育成、職場の環境整備や風土の醸成を今後どのように行っていくのかを伺う。

**答（市長）** ②働き方改革に向けて、安心して健康に働ける職場の環境整備を行うことにより、心豊かな職員を育成していくことがよりよい市民サービスの実現につながると考えている。古河市職員人材育成ビジョンの3つの柱として、人事制度・研修制度・職場風土で伸ばすを基本とし、新たな課題に積極的に挑戦できる人材の育成に取り組んでいきたい。

**答（総務部長）** ①電子決裁を導入しているところが県内で4カ所ある。現在使用している文書

管理システムのバージョンアップも研究しながら、導入に向けて検討を進めていきたい。また、職員の時間外勤務を伴うイベント等の動員については、委託できるものは業務委託し、今後も業務改善に伴う工夫や委託による費用対効果などを検証しながら、時間外勤務についての課題を検討していきたい。



古河市役所（古河庁舎）

## 《その他の質問事項》

・子育て支援について



生沼 繁 議員

## ファシリティマネジメント（公共施設の管理）について

**問** ①古河体育館は耐震性に問題があり、雨漏りや床の老朽化も甚だしく、大規模な修繕か建て替えが必要と考えるが今後の方針を問う。②小中学校のプールは維持管理、修繕に費用がかかり、老朽化により利用できない学校（公共・民間施設を利用）が今後も増える状況だが、夏季のみに限定せず、年間を通じて水泳授業を行うなど柔軟な対応の考えを問う。

**答（教育部長）** ①古河体育館については、公共施設総合管理計画、FM計画の個別計画を踏まえ、来年度中に今後の活用の検討組織を立ち上げ、方向性の具体化を図りたい。②現在プールを使用できない学校については、プール授業の期間を5月から10月までに延長して対応している。今後も柔軟な対応に努めてまいりたい。



雨漏りがひどい古河体育館

## 市民の防災力の向上について

**問** 災害時には自ら命を守る（自助）が大切であるが、個人で学ぶには限界がある。防災力強化に必要な知識や技術を伝授する防災リーダーやその育成が有効な手段であるが考えを問う。

**答（生活安全部長）** 防災について、普段から地域住民に対して適切な指導やアドバイスができる地域の人材を育成していくことは、防災力の向上につながる。水防説明会や出前講座等の機会を生かし、防災リーダー育成の気運を高めるとともに、防災リーダー養成講座の開催等を検討していきたい。